

琉球古典音楽野村流保存会

関東支部主催

第1回

わかし公演





第1回

わかし公演

平成
27年

11月8日(日)

開場

12時30分

開演

13時

墨田区曳舟文化センター

主 催

琉球古典音楽野村流保存会 関東支部

出演団体

真踊流 佳瑞の会 瑞慶山和子琉舞道場
真踊流 佳藤の会 藤原悦子琉舞道場
玉城流 喜天の会 関りえ子琉球舞踊研究所
宮城洋子琉球舞踊研究所

後 援

光史流太鼓保存会 具志忍

琉球古典音楽野村流保存会
琉球箏曲保存会

東京琉球舞踊協会

東京沖縄県人会

沖縄タイムス社

沖縄ツーリスト

御挨拶



琉球古典音楽野村流保存会 関東支部
支部長 小西 瞳子

本日は、第一回わかし公演にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。関東支部を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

関東支部は、昭和五十三年の発足以来三十七年間、紆余曲折はありながらもほぼ順調に活動を続けてまいりました。これもひとえに、諸先輩方や支援者の皆様のご尽力のお陰であると、深く感謝申し上げます。

従来、関東支部では五年に一度の定期公演を中心に会の運営を進めてまいりました。しかしながら、会員数が百名を超える現況下に於いては、五年ごとの定期公演だけでは若手会員が舞台経験を積む機会としては不十分であるという課題が出てまいりました。このような背景をもとに、関東支部の若手演奏家を中心とした公演として、第一回わかし公演を企画いたしました。

琉球古典芸能は、沖縄が琉球王国時代の十八世紀初頭から首里城を中心に本格化した宫廷芸能です。それ以来、永きに亘り、脈々と受け継がれてきたものです。従つて、私を含め、師匠たちの使命は、自身の芸の研鑽はもとより、弟子を育て、この芸を次の世代につないでいくことにある、という認識をしています。その一方で、少子化、高齢化、国際化と言つた、現代日本社会の課題が、そのまま現在の琉球古典芸能の課題にもなつてゐると言えています。

本公演では、初めて地謡や独唱をする出演者もいれば、ウチナンチュ（沖縄出身者）やヤマトンチュ（本土出身者）ばかりでなく、英國出身の出演者もいます。また、わかし公演のもう一つの目的を、できる限り外部団体の力に頼らずに、関東支部会員自身で公演を実施運営すること、としました。そのため、出演者は稽古を、舞台運営に携わる会員はその準備を進めてまいりました。このわかし公演は様々な側面で、関東支部にとって、実証実験の意味合いを持ち合せた公演となっています。

本公演名称の「わかし」は、ブリの幼魚名です。ブリは出世魚とも称され、成長に伴い、名前が変わることで知られています。ここでは、関東支部の若手演奏家を「わかし」に喻え、今は小さいけれど、将来は大きく成長してほしいという願いを込めています。

今後に向けた課題も多々あるかとは思いますが、本日は、ぜひとも若手らしい芸をお楽しみ頂きたいと思います。

御挨拶



琉球古典音楽野村流保存会

会長 勝連 繁雄

琉球古典音楽野村流保存会・関東支部の会員の皆様が第一回「わかし公演」を開催されるに当たり一言ご挨拶を申し上げます。

出世魚とも称されるブリの幼魚名からとったという「わかし」の言葉にもどうやら馴染んできました。支部会員の皆様の大きな願いが込められた良い公演名だと思います。

小西睦子支部長を中心とした関東支部の皆様の「わかし公演」に向けての取り組みに対しても心から敬意を表します。小西支部長は早い時期からその取り組みについて本部の執行部に知らせて下さいました。公演事業への協力依頼も熱心でした。

「わかし」公演を立ち上げた理由として小西支部長は「五年に一度の定期公演だけでは若手会員が舞台経験を積む機会としては十分ではない」という意味のことを述べておられます。確かにその通りだと思います。舞台経験をすることとは、歌三線の技能を高める機会になるということ、そして何より精神的な喜びを感じる機会を得るということであり、三線をやっている者の楽しみの一つですが、五年に一度の公演では余りにも不十分です。その意味で「わかし公演」は間違いなく大きな意義のある事業になることでしょう。勿論、続ける事が大事だとは思いますが。

貴支部の活躍ぶりは沖縄タイムス伝統芸能選考会等を通じてよく知っています。才能にあふれた方々もたくさんいらっしゃつしゃつて、沖縄地元の人間も大いに刺激になっています。ただ、「ヤマトンチュだのに上手だね。大したものだね」と賛辞の言葉を贈る一方、「どうも何かが足りないんだよな」という声があるのも事実です。老若男女、県外、海外にまで愛好者が出て来た時代の現象の一つとして、琉樂の本質に関する問題を含んでいるようです。お互いの後日の課題としましょう。

「わかし」公演の趣旨に賛同する立場から今後とも本部の方でもできる限りの支援をしていきたいと思います。公演の大成功を心から願っています。

祝辞



琉球箏曲保存会

会長 山内 好子

本日、平成二十七年十一月八日の大安吉日に、琉球古典音楽野村流保存会関東支部長小西睦子氏のもとで、「第一回わかし公演」を開催するに当たりまして、心からお祝い申し上げます。

関東支部は活動の拠点が広範囲にもかかわらず、各研究所に於いては、沖縄の文化や心を伝える努力をなさつております、その活動が着実に継続され、今日では、会員数も百名を超えているとのうれしい報告を受けました。

これまで、五年ごとに定期公演が行われていたようですが、会員の活動の機会を多くし資質の向上を目的に、新たに「わかし公演」を企画されたとのこと、大変喜ばしい限りでございます。

「わかし」とは出世魚とも称されるブリの幼魚名で、今は小さいけれど将来は大きく成長してほしいと、若手演奏家の育成をめざして企画されたとのことです。

本日のプログラムも、齊唱、独唱、舞踊など、この企画にふさわしい工夫がなされており、出演者の皆さまはじめ、関係各位に賞讃されることを確信致します。東京都墨田区曳舟文化センター会場の満席と又万雷の拍手を期待致します。

次回の関東支部定期公演には、本公演「わかし公演」で鍛えた若者達は、鯉が滝を登るが如く、たくましく育ち大舞台を飾り、観客に感動を与えることでしょう。この公演を機に会員の普及向上と後継者育成に大いに期待が持てます。

関東中の琉球箏曲保存会の会員の皆さまにも出演の機会を与えて下さいまして、心から感謝申し上げます。むすびに、琉球古典音楽野村流保存会関東支部の益々のご発展と本公演のご成功を祈念致します。

本日は誠におめでとうございます。

ご紹介

琉球王国は1429年に統一され、1879年明治政府の廃藩置県によって沖縄県になるまで、独立国として独自の文化を育んできました。早くから中国と冊封関係を結び、王位の交代の度に冊封使を迎えて数か月に及ぶ式典が催されました。冊封使は国王に授ける王冠を携えてきたことから、乗ってきた船を御冠船と呼び、一行をもてなすために催した芸能を「御冠船踊」と称したのです。この御冠船踊の指導監督にあたる踊奉行に任命された玉城朝薰は、江戸上りの経験もあり大和芸能への造詣が深く、新しい歌舞劇「組踊」を生みだします。琉球芸能は国家の重要な行事に組み込まれ、宫廷芸能として芸術性を高めつつ発展しました。

今日、「組踊」と「琉球舞踊」は共に、能・狂言、歌舞伎、文楽同様、国の重要無形文化財に指定されており、「組踊」は平成22年11月にユネスコ無形文化遺産保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されました。

出典 国立劇場伝統芸能情報館資料(平成24年)より

INTRODUCTION

The Ryukyu Kingdom developed a distinctive native culture in the years between its unification in 1429 and incorporation into the Japanese state as Okinawa prefecture in 1879. From early on in its history, Ryukyu established a tributary relationship with China, and would welcome 'Sapposhi' envoys from China for several months on the occasion of a succession to the Ryukyu throne. Due to the seal of approval which they bestowed on the new Ryukyu king, the Sapposhi expeditions came to be known as 'ukwanshin' (the ship that brings the crown), and the performing arts that were performed as entertainment for the Chinese envoys came to be known as 'ukwanshin udui' (dances for the crown ship). Tamagusuku Chokun, one of the directors of the ukwanshin performances, developed a new Ryukyuan theatre genre, kumiudui, in 1719, which incorporated his deep knowledge of Japanese performing arts, learned through visits to Edo (Tokyo) and other parts of Japan. Through incorporation into the life of the royal court, Ryukyuan performing arts gradually developed a highly refined artistic sensibility.

Today, Kumiudui and Ryukyuan Dance have been designated by the Japanese government as Important Intangible Cultural Properties, alongside Noh, Kyogen, Kabuki and Bunraku. In November 2010, Kumiudui was inscribed on the UNESCO Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity.

National Theatre Traditional Performing Arts Information Centre, 2012

演

目

- 一、 幕開け・舞踊
かぎやで風
 - 二、 若手齊唱
恩納節 ごえん節
 - 三、 舞踊 上り口説 下り口説
 - 四、 舞踊 四つ竹
 - 五、 独唱 千瀬節 子持節 古見之浦節
 - 六、 舞踊 かせかけ
 - 七、 舞踊 本貫花
 - 八、 独唱 仲村渠節 赤田風節
- (休憩)
- 九、 師範・教師齊唱
天川節 ちるれん節
 - 十、 舞踊 若衆特牛節
 - 十一、 独唱 散山節 仲風節 述懐節
 - 十二、 舞踊 浜千鳥
 - 十三、 舞踊 高平良万歳
 - 十四、 女性齊唱
よしやいなう節

幕開け・舞踊 かぎやで風

カ ジ ャ デ イ フ ウ

【踊り】 真踊流佳藤の会 藤原悦子琉舞道場 上野怜子 宮城富美子

【歌三線】 勝連繁雄 仲宗根盛栄 小西睦子 大城貞吉 日高桃子

仲間功 與那霸朝成 知念良弘 山城祐子 仲間裕子

安場淳 川平旭人 栗原弘一 宜蘭松都 中野香織子

川瀬美和子 中山晴香 古堅宗啓 上原瞬 中西秋桜織子

赤岩千鶴子 中山晴香 古堅宗啓 上原瞬 中西秋桜織子

寺本さやか 大城朝子 仲宗根美花

【箏】 森明日加

【胡弓】 中村文子

【太鼓】 具志忍

今日の誇らしやや 何にぎやな譬る
 キュヌフクラシャヤ ナヲウニヂヤナタティル

苔である花の 露行逢たごと
 ツイフディヨウルハナヌ ツイユチャタグトウ

歌意

今日の嬉しさは何に譬えようか、ちょうど、苔でいる花が朝露を受けて今まさにパツと咲き開いたようだ。

解説

祝宴の座開きとして踊られる祝儀舞踊。本来は老人踊りがあるので、長寿を生き国家安泰を願い、子孫繁栄を喜ぶ思想で終始する。振りも扇を用いのびのびと大らかに展開する。

かぎやで風 -Kajadefu-

'Rojin Odori'. A celebratory theatrical song and dance performed at the start of performances and banquets. The grey haired, grey bearded elderly man holds a fan and dances to 'Kajadefu-bushi' with an elderly grey haired woman holding woman's fan. The lyrics of 'Kajadefu-bushi' describe the beauty of a bud receiving the morning dew and trying to bloom and allude to the longing and joy of it.

National Theatre Okinawa

若手齊唱

恩納節

ごえん節

ウンナブシ

ケウインブシ

恩納節

ウンナマツイシタニ

チジヌフエヌタチュシ

クワイシヌスマディヌ

チジャヤネサミ

恩納松下に

禁止の牌の立ちゆす

恋忍ぐまでの

禁止や無いさめ

歌意

恩納間切番所前の松の木の下に禁止令の札が立っているが、恋忍ぶことまでの禁止ではないよね。

ごえん節

グワインアティウトウジャ
御縁あておとぎや
御縁あておとぎや
いきやて嬉しさや
うちはれて遊べ
わみも遊ばイチャティウリシサヤ
ウチハリティアシビ
ワヌンアシバ歌意
ご縁があつて兄弟に会うことができ嬉しい。心おきなく遊びなさい、私も共に遊びましょう。歌意
ご縁があつて兄弟に会うことができ嬉しい。心おきなく遊びなさい、私も共に遊びましょう。

舞踊 上り口説 下り口説

ヌブキクドウチ

クダキクドウチ

【踊り】 玉城流喜天の会 関りえ子琉球舞踊研究所 宇夫方路 関堯之 関杏那

【歌三線】 大城貞吉 上里民智徳 仲間功 與那覇朝成 知念良弘
川野和好 安里嗣則 上原次郎 德永猛 熊倉伸一

【箏】 大城朝子(上り口説) 仲宗根美花(下り口説)
【笛】 菱田まき(上り口説) 森明日加(下り口説)

【太鼓】 上原瞬

上り口説

タビヌインヂタチクアンヌンドー

シンティクアンヌンフシラウガディ

クガニシャクトウティタチワカル

旅の出で立ち觀音堂 千手觀音伏し拝で 黄金酌とて立ち別る

スディニフルツィユウシハラヰ

ウフドーマツイバラアユミユク

ユキバハチマンスーギージ

袖に降る露おし払ひ

大道松原歩み行く

行けば八幡崇元寺

ミージタカハシウチワタテイ スティラウツィラニティムルフィトウヌ ユクムカキルムナカヌハシ
美栄地高橋打渡て 袖を連ねて諸人の 行くも帰るも中の橋

ウチヌスバマディウヤクチヨウデー チリティワカユルタビグルム スティトウスティトウニツィユナミダ
沖寺の側まで親子兄弟 連れて別ゆる旅衣 袖と袖とに露涙

フニヌトウムヅイナトウクドウクトゥ フナクイサミティマフフィキバ カジヤマトウムニウンマフィツイジ
船のとも綱とくどくと 舟子勇みて真帆引けば 風やまともに午未
マタンミグリオーラギントウティ マニクオウチャミーグスク ザンパミサチンアトウニミティ
又も廻り逢ふご縁とて 招く扇や三重城 残波岬も後に見て

イヒヤドウタツナミウシスキティ ミチヌシマジマミワタシバ シチトトウナカンナダヤスク
伊平屋渡立つ波おし添へて 道の島々見渡せば 七島渡中も灘安く

ムユルチムリヤユヲガシマ サダメミサチニハキナラディ エキ
もゆる煙や硫黄が島 佐多の岬にはい並でエヰ

アリニミユルワウカイムン フジニミマゴウサクラジマ
あれに見ゆるは御開聞 富士に見まがふ桜島

解説

薩摩上りを命じられた首里士族の心情と旅の風景を口説きで表現した古典二才踊り。
手には扇を持つて終始きびきびと二才の技をみせる。

下り口説

サティムタビニヌカキマクラ

ユミヌサミタルククチシティ

チヌウチュウトウワウムキドウム

さても旅寢の假枕

夢の覚めたる心地して

昨日今日とは思へども

ムハヤクジュウグワツイナリヌリバ

最早や九十月なりぬれば

ヤガテイウキトウマクダサリティ

シシャヌミンミンミナスルティ

ビザイティンドーフシウガディ

やがてお暇下されて

使者の面々皆揃て

弁財天堂伏し拝がで

イザヤウカキヤタチインヂイティ

テゼヌフィトイツビイトウフィチチリティ

ヂヨヤヌハマニティタチワカル

いざやお假屋立出でて

滞在の人々引き連れて

行屋の浜にて立ち別る

ナグリヲウシヂヌフナクドウム

ユルクビイサミニティフヲウアギヌ

ユワエヌサカヅイチミグルマニ

名残り惜しげの船子共

喜び勇みて帆揚げの

祝の盃めぐる間に

ヤマゴーンナトウニハキイリティ

フニヌアラタミスインディマタ

イカリフィチヌシマフフィキバ

山川港にはい入れて

船の検めすんでまた

錨引き乗せ真帆引けば

カジャヤマトウムニニウシヌフワ
風やまともに子丑の端 佐多の岬も後に見て 七島渡中も安々と

ナミヂハルカニナガムリバ

アトウヤサチニントウムフニヌ

フファイチツィリティハシリユク

波路はるかに眺むれば 後や先にも友船の 帆引き連れて走り行く

ミチヌシマジマハヤスイヂティ

イヒヤドウタツナミウシスヰティ

ザンパミサチニハキナラディ

道の島々早すぎて 伊平屋渡立つ波押し添えて 残波岬にはいならで

アリアリヲウガミウシルムトウ

ビンヌウタキンウチツイヅイチ エヰ

あれくく拝めお城もと 弁のお岳も打ち続きエヰ

ステイラウツィラニティムルフィトウヌ シケニインヂタヤミーグスイク

袖を連らねて諸人の 迎へに出でたや二重城

解説

上り口説と対をなすもので、手に杖(チーグーシ)を持ち道行きの様子を表現する。下りとは、薩摩から琉球への帰路のこと。いたるところにあて振りが入って、帰路につく二才たちの心境を巧みに表現している。

舞踊 四つ竹

ユツイダキ

【踊り】	真踊流佳藤の会	藤原悦子	琉舞道場	佐藤雅江	宮城富美子
下田末子	近田クニ子	上野怜子			
【歌三線】	日高桃子	赤岩千鶴子	加地芳恵	川瀬美和子	川野香織
久保純子	鴻上牧希	中山晴香	安場淳	山城祐子	
【箏】	仲宗根美花				
【笛】	森明日加				
【胡弓】	中村文子				
【太鼓】	上原瞬				

うちならしならし
ウチナラシナラシ

四つ竹はならち
ユツイダキワナラチ

今日や御座出て
キユヤウザウンツイティ

遊ぶ嬉しや
アスィブウリシャ

歌意

打ち鳴らし鳴らし四つ竹を鳴らして、今日はお座敷に出て踊り遊ぶことができて嬉しい。

解説

「踊りくわでさ節」の曲にのり、古典女踊りの着付けに花笠をかぶり手に四つ竹を持って優雅に踊る。坐れる席に出てることを許された、若者たちの野外の喜びを美しく表現している。

四つ竹 -Yuchidaki-

This dance is accompanied by the classical song Udui Kuwadisa bushi, and the dancers wear bingata kimono of the classical unna udui (women's dance) style, with flower-shaped hats, and carry a pair of bamboo clappers in each hand (the name of the dance - lit. '4 pieces of bamboo' derives from this instrument). The lyrics express the joy of the young women as they express themselves through dance.

National Theatre Okinawa

独唱

千瀬節

子持節

古見之浦節

フィシブシ

クワームチヤアブシ

クンノーラブシ

千瀬節

【歌三線】與那霸朝成

【箏】大城朝子

サトウトウミバヌユディ
イヤディイユミウヤドウ
フユヌヌユシガ
タゲニカタヤビラ
里とめばのよで
いやで言ゆめおやど
冬の夜のよすが
互に語やべら

歌意	貴方と知ればどうしてお断りしましよう。冬の夜長を語り合いましょう。
----	-----------------------------------

子持節

【歌三線】川野和好

【箏】宜蘭松都

タルユウラミトウティ
ナチュガハマチドウリ
アワンツィリナサヤ
ワヌントウムニ
誰ようらめとて
泣きゆが浜千鳥
逢はぬつれなさや
わ身もともに

歌意

誰を恨んで泣いているのか浜千鳥。遣えぬ寂しさは私も同じだよ。

古見之浦節

【歌三線】 中西秋桜

【箏】 川崎育恵

ウシツイリティタゲニ

ハナヌムトウシヌディ

スディニウイウツイチ

アシブウリシャ

おしつれて互に 花のもと忍ので 袖に匂移ち

遊ぶ嬉しや

歌意

みんな連れ立つて花の下にしおび、袖に匂いを移して遊ぶことが嬉しい。



舞踊 かせかけ

カシカキキ

【踊り】 真踊流佳瑞の会 瑞慶山和子琉舞道場

玉城仁

【歌三線】 加藤郁恵 岩片美奈子 渡邊隆子

藤高めぐみ

塚越絵里子

仲間裕子

【箏】 花城スミ子

【笛】 菅田まき

ナナユミトウハテン カシカキティウチュティ
サトウガアゲズイバニ ンシユユスイラニ

七読と二十読

締掛けて置きよて

里が蜻蛉羽

御衣よすらね

(千瀬節)

フイシブシ

ワクヌイトウカシニ クヰカキシガキシ カキティウムカヂヌ
マサティタチュサ マサティタチュサ

枠の糸締に

繰り返し返し

掛けて面影の

勝て立ちゆさ

カシカキティウチャヤ

ナランムヌサラミ

クヰカキシガキシ

ウミドウマシユル

シチシャクブシ

締掛けて伽や

ならぬものさらめ

繰り返し返し

思ど増しゆる

(七尺節)



歌意	解説
七読二十読のとんぼ羽のような薄い上質の布を織りあげて、あの人の着物を仕立てよう。 糸枠に繰り返し総掛けをするにつけ、あの人の面影は勝つて立つばかりです。 総掛けに没頭しても慰めにはならない、かえって物思いは増すばかりです。	上流家庭の娘が、愛人のために真心をこめて、とんぼの羽のような美しい上布を織つてあげたいという娘心の切なさと喜びを表現し舞踊化したもので、古典舞踊女七踊りの代表的なもののひとつになっている。玉城朝薰が、千瀬節と七尺節の曲にのせ、総と総枠を操る振付けをしたと云われている。

総掛け -Kashikaki-

'Onna Odori'. Bingata cloth attire is worn with the right shoulder exposed. The dancer holds a spool and manipulates the thread in this beautiful dance. The exposure of the right shoulder symbolizes the attire of a weaver. For her lover, the dancer makes a very light, high quality cloth, and begins to dance to the lyrics describing her desire to make a garment. In the latter half of the dance, the dancer returns to winding the thread and with the shadow of her lover in her eyes the pining increases.

National Theatre Okinawa

舞踊 本貫花

ムトウヌチバナ

【踊り】 玉城流喜天の会 関りえ子琉球舞踊研究所 宇夫方路

【歌三線】 水谷亮介 青山康和 遠山泰永 川野和好 川平旭人

【箏】 神谷ケイ子

【胡弓】 中村文子

ハルヌヤマカワニ チリウカブサクラ
春の山川に 散り浮ぶ桜 すくい集めてど 里や待ちゆる (金武節)

シラシハキカワニ

チリウカブサクラ

スイクキアツイミティドウ

サトウヤマチユル

チンブシ

シラシハキカワニ

ナガリユルサクラ

スイクティイウミサトウニ ヌチャキハキラ

白瀬走川に

流れゆる桜

すくておめさとに

ぬきやいはけら

アカチユヌチバナヤ

サトウニウチハキティ

赤糸貫花や

里にうちはけて

シルチユヌチバナヤ

ユウイリワラビ

シラシハキカーブシ

白糸貫花や

よえれわらべ

(白瀬走川節)



歌意	解説
<p>春川に浮いて流れてくる桜の花びらを掬い集めて、あの人を待つのです。</p> <p>白瀬川に浮かんで流れている桜の花びらを掬い集めて首飾りを作つて愛しい貴方に掛けてあげた赤糸の貫き花は、私のあの人の方にかけてあげます。白糸の貫き花は、あなた方子供にあげる。</p>	<p>紅型衣装に貫花（ヌチバナ）を肩にかけて道行を舞い、後半の娘心を吐露するところでは貫花を舞台に投げ出しあり。軽やかさのなかにも品位をそなえた古典女踊り。明治以降に「貫花踊り」がつぶられたため、古典の「貫花」は「本貫花」という名で区別されている。</p>

独唱 仲村渠節 赤田風節

ナカンカリブシ
アカタフウブシ

仲村渠節

【歌三線】 古河和美

【箏】 神谷ケイ子

ナカンカリスベドウ マスイダリワサギティ アネラワンントウマバ シヌディイモリ
仲村渠すばいど 真簾は下げる あにあらはもとまば 忍でいまうれ

歌意

仲村渠家の裏座敷の戸に真すだれを下げておきますから、そうだと思ったら忍んできて下さい。

赤田風節

【歌三線】 藤高めぐみ

【箏】 仲宗根美花

アカタジョウヤ

ツイマルトウン

クキシミムヌジョウヤ

ツイマティクキルナ

赤田門や つまるとも 恋しみもの門や つまてくいるな

歌意

赤田門が閉まつても、愛しい人のもとへ通じる見物門（淑順門）は閉まつてくれるな。

師範・教師齊唱 天川節

アマカーブン

チルリンクブン

ちるれん節

チルリンクブン

【歌三線】

勝連繁雄

仲宗根盛栄

宮城秀夫

神谷清輝

翁長良賢

水谷亮介

小西睦子

大城貞吉

日高桃子

青山康和

東江邦夫

岩片美奈子

上里民智徳

柏原雄人

加藤郁恵

宜蘭松都

佐藤舞

塚越絵里子

遠山泰永

登坂寛

藤高めぐみ

渡邊隆子

【箏】

神谷ケイ子

川崎育恵

天川節

アマカワヌイチニ

アスイブウシドウキヌ

ウムキバヌチヂリ

ユスヤシラン

天川の池に

遊ぶ鴛鴦の

おもひばの契り

余所や知らぬ

歌意

おしどりの契りを歌う。他者の窺い知ることの出来ないほどの深い愛情で結ばれた夫婦仲の良さを歌う。

ちるれん節

クワウムマガスルティ

ニガタグトウカナティ

ウフヌシヌヒヤクセ

ウユヲエシャビラ

子孫揃て 頼たことかなて 大主の百歳 お祝いしやべら

歌意

子孫揃つて願ったことが叶って、今日は大旦那様の百歳のお祝いをしましょう。

舞踊 若衆特牛節

ワカシユクティブシ

【踊り】 真踊流佳瑞の会 瑞慶山和子琉舞道場

大和田文子 小野真弓

【歌三線】 與那霸朝成 知念良弘

小川友奈

中西秋桜

安場淳

川野和好

安里嗣則

上原瞬

川野香織

川瀬美和子

【箏】 花城スミ子

【笛】 菱田まき

【胡弓】 中村文子

【太鼓】 具志忍

トウチワナルマツイヌ カワルクトウネサミ
イツインハルクリバ イルドウマサル
常磐なる松の 変わること無いさめ いつも春来れば 色ど勝る

歌意

常緑の松は、変わることがないのだ。いつでも春が来ると必ず色は増す。

解説

元服前の若衆の、長い人生における行く先を「ことほぐ祝儀的要素の強い舞踊の一つ。若衆踊り。出羽から舞台中央で基本立ちするまでの歩みが特徴的である。笛と太鼓の奏でる音とかけ声について、壮重かつ厳肅に登場する。その所作はこの演目のみで若衆の持つ意気を表現する。

独唱

散山節

仲風節

述懐節

サンヤマブシ

ナカフウブシ

シュツケーブシ

散山節

【歌三線】佐藤建一郎

【筝】寺本さやか

マクトウカヤジツイカ ワチムフリブリトウ
 ニザミウドウルチヌ ユミヌククチ
 まことかや実か わ肝はればれと 寝覚め驚の
 夢の心地

歌意

これはほんどうか、現実か、嘘では無いのか、呆然として夢を見ているようだ。

仲風節

【歌三線】谷川昇

【筝】川崎育恵

マクトウカヤジツイカ ワチムフリブリトウ
 ニザミウドウルチヌ ユミヌククチ
 誠一つの 浮世さめ のよでい言葉の あはぬおきゆが

歌意

正直一筋「そが浮世でもつとも大切だ。一人に約束が違うはずはない。」

述懐節

【歌三線】 宜蘭松都

【 箏 】 神谷ケイ子

ヲウガディナツイカシャ

マヅイシミティヤスイガ

ワカティウムカヂヌ

タタバチャヤシユガ

拌でなつかしや まづせめてやすが

別かて面影の

たたばきやすが

歌意

お会いしても悲しいのは致し方ないが、お別れして後、貴方の面影が立つたらどうしましよう。



舞踊 浜千鳥

ハマチドウリ

【踊り】宮城洋子琉球舞踊研究所 崎原桂子 三竹舞里 比嘉是江 上田裕子

【歌三線】佐藤舞 杉山晴美 赤岩千鶴子 小川友奈 中西秋桜 佐々木良子 西野まどか

【箏】寺本さやか

【笛】菱田まき

【太鼓】具志忍

タビヤハマヤドウヰ
旅や浜宿り 草の葉の枕 寝ても忘らぬ 我親のお側

クサヌファヌマクラ

ニティンワスイララン

ワヤヌウスバ

タビヤドウヌニザミ マクラスバダティティ
旅宿の寝ざめ 枕そばだてて 覚出しゆき昔 夜半のつらさ

ウヒジヤアスサンカシ

ユワヌツィラサ

トウケヤフィザミティン テイルチチャフイトウツイ
渡海やへぢやめても 照る月や一つ あまも眺めゆら 今宵の空や

アマンナガミニユラ

キユヌスラヤ

シバキウイティウカバ シバシバトウイモリ マタキウイティウカバ マタンイモリ
しば木植えておかば しばしばといもうれ 真竹植えておかば またもいもうれ

解説

「チジュヤー」とも言われ親しまれている。故郷を遠く離れてそこに残した人々を偲ぶ心情が描かれた雑踊り。紺地の紺を着たさわやかな娘たちが、ウシンチ一姿で哀愁に満ちた旅情豊かな「浜千鳥節」にのって踊る。雑踊り傑作といえる。

舞踊 高平良万歳

タカデーラマンザイ

【踊り】 宮城洋子琉球舞踊研究所 高良直宏

【歌三線】 柏原雄人 宮尾博一 尾川竜一 杉山和敬 遠山泰永

【箏】 寺本さやか

【笛】 森明日加

【太鼓】 具志忍

マンザイクドウチ

万歳口説

ウヤヌカタチュウタンテキ マンザキスイガタニウツイヤツイリ ポウトウツィトウニタチシクディ

親の仇を討たんてい 万歳姿に打ちやつれ 棒と杖とに太刀仕込んで

アミガサフカクカヲウカクチ シヌビシヌビニタチインヂティ ムラムラサトウザトウクキクリバ

編笠深く顔隠ち 忍び忍びに立ち出て 村々里々越え来れば

テラヤシヌブティチヌムン チヨーデシリミニミスイグシティ ウシルヌミチニミグリチティ

平良や忍ぶ敵の門 兄弟尻目に見過して うしろの道に巡り来て

ユクスヰユシヌウンカミニ イヌルククルヤワガティチニ イスヂヒチャワシタブリテヰ
行末吉の御神に 祈る心は我が敵に 急ぎ引合せ賜りてい

ヌブティシャダンニグアンタティティ マフェニンカヰティナガムリバ ユムヌチシチヌウムシルヤ
登て社壇に願立てて 真南に向いて眺むれば 四方の景色の面白や

チートゥキラマヌトゥナカニワ アマヌツィリブニウチツイリティ
慶伊と慶良間の渡中には 海の釣舟浮きつれて

ウチヌカムミトゥミマゴーヤ スリカラクダキクダキチティエヰ
沖のかもめと見違うや それから下り下りきてエヰ

ウティラグムンニタチュヤキ ヤスイムスイガタヤユスシラン
御寺御門に立ち寄やい 休む姿や与所知らぬ

マンサイコースイフシ

万歳かふす節

マンザイコースイヤ ヤンザイコースイヤ ニグワツイウフダティスマツィリヤ テインユリクダキヌ
万歳かうすや 行脚いかうすや 二月お穂立て穂祭や 天より下りの

ナンヌフイドウキヤユキフイドウリ メーヤウンフサイイシヤガッサキ

何の日取やよい日取り 米や重さい石や軽さい

ティンユリクダキヌ

ヌヌウキジョウズイヌ

アヤウキヲウトウクヌ

ニシチヌチンラン

カラヲウヌチンラン

天より下りの 布織り上手の 綾織り男の

錦の金欄 唐草の金欄

ティンユリクダキヌ

アヤウキヲウトウクヌ

ニシチヌチンラン

カラヲウヌチンラン

ヲウトウクヌチョウジャヌ ニンマヌチヨウジャヌ ニヲウキユワリリティ
男の長者の 荷馬の長者の 荷負ひよわりて

ヤンザユワリティ ヤンザヤンザトウウンマヌティトウリバ イチダントフミラリタ
行脚よわりて 行脚行脚と馬乗て通れば 一段とほめられた

キュンアチャンウユウェグトウユ
今日も明日も御祝事よ

うふんしやり節

ウフンシャリブシ

トウナキヌミニチリハナチリグニフィチミヤガ ミハギクビシルウェンチュニアラカヂクワリティ
隣の耳切れ鼻切れごね引き猫が 目はげ首白鼠に荒かぢ食はれて

アビラジヲウラバジ トウヌカジウミイリヤサトウチュキド
あびらじをらばじ とのかじ思入や里一人だう

エーサトウガムヌイクラシャヤ ヌニタティルガエ フダヌヂヤギナヤ
やえ 里が物云いくらしやや 何に譬るが やえ ほだのぢやげなや

センスルブシ

さいんそる節

チヨウヌクタルガツイクタンバヰ
京の小太郎が作たんばい

ツィビフギャリティルジュウスイギティ
尻ほげ破れ手籠尾すげて

イタヂリミーヌチヌキキタル
板片目貫ち乗り來たる

ミフワフトウシ
みいははどしい
つおんつおん

ヤンザイコウスイヤウンマメーサ
やんざいかうすや馬舞者

ゲージモウタシシモウタ
がいじ舞うた獅子舞うた

カネルムヌウミカキタミ

ヲウカシヤバカヰ

かにある物御目掛けため

をかしやばかり

シタリガ ツォンツォン
したれが つおんつおん

ヤア ツォンツォン
やあ つおんつおん

解説
組踊り三組の一つ「万歳敵討」での兄弟が親の仇を討つために京太郎姿に身をやつし仇討に行く途中を舞踊化したもの。万歳口説、京太郎踊りである万歳かうす節、うふんしゃり節、さいんそる節の構成である。

高平良万歳 -Takadera-manzai-

Said to be the showpiece of 'Nise Odori'. Taken from Tasato Chochoku's 'Kumi Odori' dances 'Manzai-tichiuchi (万歳敵討)'. Two brothers, Jananushi, and Chiun, amuse themselves with entertainer Chondara. The piece shows the scene of the brothers overcoming their father's foe Takadera Uzashi and encompasses it in a one song long dance. This is the appeal of 'Kumi Odori'.

National Theatre Okinawa

女性齊唱 よしやいなう節

ヨシヤイノーブシ

【歌三線】

日高桃子
川瀬美和子
杉山晴美藤高めぐみ
川野香織
仲間裕子塚越絵里子
久保純子
中西秋桜赤岩千鶴子
佐々木伊津子
西野まどか小川友奈
佐々木良子
安場淳

【箏】

川崎育恵
仲宗根美花

菱田まさ

塚越絵里子
久保純子
中西秋桜赤岩千鶴子
佐々木伊津子
西野まどか小川友奈
佐々木良子
安場淳

【笛】

森明日加

菱田まさ

塚越絵里子
久保純子
中西秋桜赤岩千鶴子
佐々木伊津子
西野まどか

【胡弓】

中村文子

仲宗根美花

塚越絵里子
久保純子
中西秋桜赤岩千鶴子
佐々木伊津子
西野まどかトウカグシヌユアミ
アマンユヌンカスイクサバウルワシユスイ
クヴィムドウチサラミ

御かけぼさへ御代の

シルシサラミ
シルシサラミトウカグシヌユアミ
アマンユヌンカスイクサバウルワシユスイ
クヴィムドウチサラミシルシサラミ
シルシサラミトウカグシヌユアミ
アマンユヌンカスイクサバウルワシユスイ
クヴィムドウチサラミシルシサラミ
シルシサラミ

天の世のむかし

繰り戻ちさらめ

シルシサラミ
シルシサラミ

十日越しの夜雨

時もたがぬ

トウチントガン

歌意

十日越しの夜雨が草葉を潤すのも、立派な御治世の現れです。
豊年の昔を繰り戻そう。十日越しの夜雨が時もたがわす降っている。

解説

一場曲の独唱五曲の後、本曲などで会を閉める習わしがあります。

引用資料

- 「野村流工工四 上巻・中巻・下巻」 野村流古典音楽保存会
- 「舞踊曲工工四 第一巻・第二巻」 野村流古典音楽保存会
- 「舞踊節組歌詞集」 野村流合同協議会
- 「沖縄三線・節歌の読み方」 大城米雄編著

本プログラムの歌詞は、上記資料を元に、ご来場の方が理解しやすいように、漢字、かなを一部修正しております。
またルビは参考として付けていることをご了承下さい。

広告掲載のご協力をありがとうございました。

琉球古典音楽野村流保存会 関東支部

監査	監査	書記	書記	会計	会計	事務局	事務局	事務局	事務局長代行	副支部長	副支部長	相談役	相談役	顧問	顧問
登坂寛	神谷ケイ子	谷川昇	柏原雄人	日高桃子	寺本さやか	藤高めぐみ	渡邊隆子	安里嗣則	川野和好	濱田武志	大城貞吉	小西睦子	宮城秀夫	神谷清輝	東嵩純
															照屋芳子
															土屋富美



琉球古典音楽野村流保存会

													顧問	安田慶善		
"	副会長	会長	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	相談役	"	"	"
宮城康明	上原靖弘	上原連繁雄	譜久原朝次郎	金城夕ヶ子	國吉正康	富名腰義春	知花清秀	玉城政文	譜久原朝敏	花城康榮	新里文英	城間徳太郎	知花包喜	安田慶善		会計長
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	理事	玉那霸昭二	事務局長	宮城幸盛
嘉味田光子	大湾朝重	上原伸浩	上地弘子	糸数春美	池原憲彦	赤嶺三日	山城清重	仲村一史	比嘉俊雄	棚原国次	比嘉俊雄	下茂門	金良宗吉	上原トミ子	仲宗根盛栄	評議員
																評議員
監査兼評議員	監査兼評議員	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	喜瀬慎仁
宮城欣也	宮城廣政	山城暁	山城赳	宮城信子	宮城邦昭	又吉真也	比嘉義勝	高江洲昌正	比嘉義勝	下茂門	金良宗吉	喜瀬勉	喜瀬慎仁			

祝 わかし公演

琉球古典音楽 野村流保存会

宮城秀夫古典音楽研究所

師範 宮城 秀夫

教師	柏原 雄人
〃	濱田 武志
〃	安田 まり子
〃	東江 邦夫
〃	登坂 寛
〃	伊波 万紀子

初心者歓迎 入会金なし・月謝 7000円

稽古日 毎週日曜日 AM10:00～PM17:00



最寄駅-地下鉄丸の内線中野富士見町駅 徒歩3分

〒164-0013 東京都中野区弥生町2-52-8 城西本社ビル301号 円水館内
TEL・FAX:03-5385-0580



第1回 わかし公演



琉球古典音楽の清々しさを
お伝えしたいと思います

琉球古典音楽野村流保存会 関東支部

師範 小西睦子研究所

沖縄県石垣市出身

〒343-0841 埼玉県越谷市蒲生東町19-40

直通 090-4139-3434

Eメール sansin109109@yahoo.co.jp

祝 第1回わかし公演

琉球古典音楽 野村流保存会 大城貞吉古典音楽研究所

師範 大城 貞吉
顧問 松田 忠男
教師 板良敷 朝英
教師 上里 民智徳
新人賞 仲間 功
新人賞 與那霸 朝成
新人賞 知念 良弘
岩崎 徳子
田中 新
西元 晃子
宮川 由香里
三浦 千寿

〒134-0085 東京都江戸川区南葛西6-4-13
TEL/FAX 03-3675-4635 携帯 090-3318-1776

祝 第1回 わかし公演

琉球古典音楽野村流保存会
師範 日高 桃子

(沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻第3期生)

安倍 愛ぐみ 熊倉 伸一

中村 千鶴 Barbara Geilhorn (早稲田大留学生)

山城 祐子 Peiying Tsay (東京大学留学生)

湯島うた三線教室 (www.utasanshin.jp)

●月・水・金 個人レッスン (60分～70分)
土・日に合同レッスンを行うことがあります。
本格的に琉球古典音楽を勉強したい方向けです。

●根津「ギャラリー柳の庭」にて初心者対象に手ぶらで歌三線を
体験する教室を開催しております。

上野公園、谷根千、本郷東京大学に囲まれた散策して楽しい場所です！
詳しくは上記ホームページをごらんください。

文京区湯島 4-10-12 080-1238-3216
momoko.hidaka@gmail.com

祝 第1回わかし公演

琉球古典音楽野村流保存会 関東支部
沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者

師範 水谷 亮介

連絡先 090-9273-9843
E-mail lotte-takarazuka2014@ezweb.ne.jp



第1回わかし公演

琉球古典音楽「歌・三線」研究会
琉球古典音楽野村流保存会 翁長良賢研究所

師範 翁長 良賢

教師 具志堅 興和

教師 塚越 絵里子

教師 新垣 盛市(胡弓)

教師 藤高 めぐみ

■小金井教室

小金井市公民館東分館(東センター)

西武多摩川線

新小金井駅より徒歩3分

毎週土曜日

17:00~18:00 児童・生徒

18:00~22:00 一般

■立川北教室

立川市高松学習館

J R 中央線

立川駅北口より徒歩15分

毎週日曜日

14:00~16:00 一般

■国分寺教室

国分寺市本多公民館

J R 中央線

国分寺駅北口より徒歩10分

第2・第4月曜日

18:00~22:00 一般

電話：042-301-6931 (翁長) Email : ryuonken@outlook.jp



第1回 わかし公演

琉球古典音楽野村流保存会

宮城康明研究所 東京教室 教師一同

◇毎月2日間、沖縄から師匠を迎えて稽古をしています

◇そのほか、教師稽古も行っています

教師 岩片 美奈子

教師 加藤 郁恵

教師 谷川 昇

教師 渡邊 隆子

教師 青山 康和



連絡先(e-mail) : akedomo_tokyo@yahoo.co.jp

祝 第1回わかし公演

琉球古典音楽野村流保存会



奄の会

嘉數世勲

[笛・胡弓・三線・民謡
琉球舞踊と組踊の地謡]

東京練場

重要無形文化財組踊(総合認定)保持者 重要無形文化財舞踊(総合認定)保持者

県指定無形文化財沖縄伝統音楽保持者 県指定無形文化財沖縄伝統舞踊保持者

連絡先 ☎900-0031 沖縄県那覇市若狭2-11-21 携帯090-4516-9235

㊗ 第1回わかし公演

琉球古典音楽野村流保存会 関東支部 寺本さやか研究所

稽古場所:沖縄料理『城』

東京都新宿3-8-5中川ビル2F

JR「新宿駅」より徒歩7分

東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄新宿線

「新宿三丁目駅」より徒歩1分

稽古日:日曜日17:00~20:00 火曜日19:30~22:30

電話:03-5269-2269

mail:sayaka1008@i.softbank.jp

随时見学受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

㊗ 第1回わかし公演

しもきた三線俱楽部



琉球古典音楽野村流保存会 教師

佐藤 建一郎／佐藤 舞

小田急線・京王井の頭線 下北沢駅南口徒歩5分

沖縄料理&創作ダイニング サザンウインドウ



楽しくなければ続かない
続かなければ上達しない
上達しなければ楽しくない
楽しみながら歌三線しましょーねー！

連絡先:shimokita_sanshin_club@yahoo.co.jp

Facebook:SanshinclubShimokita

ブログ:町の三線弾きのブログ



琉球箏曲保存会
八重山古典音楽安室流協和会

北村澄子箏曲研究所

師範 北村 澄子



オリジナルデザイン
オーダーメイド
洋裁教室
パターン

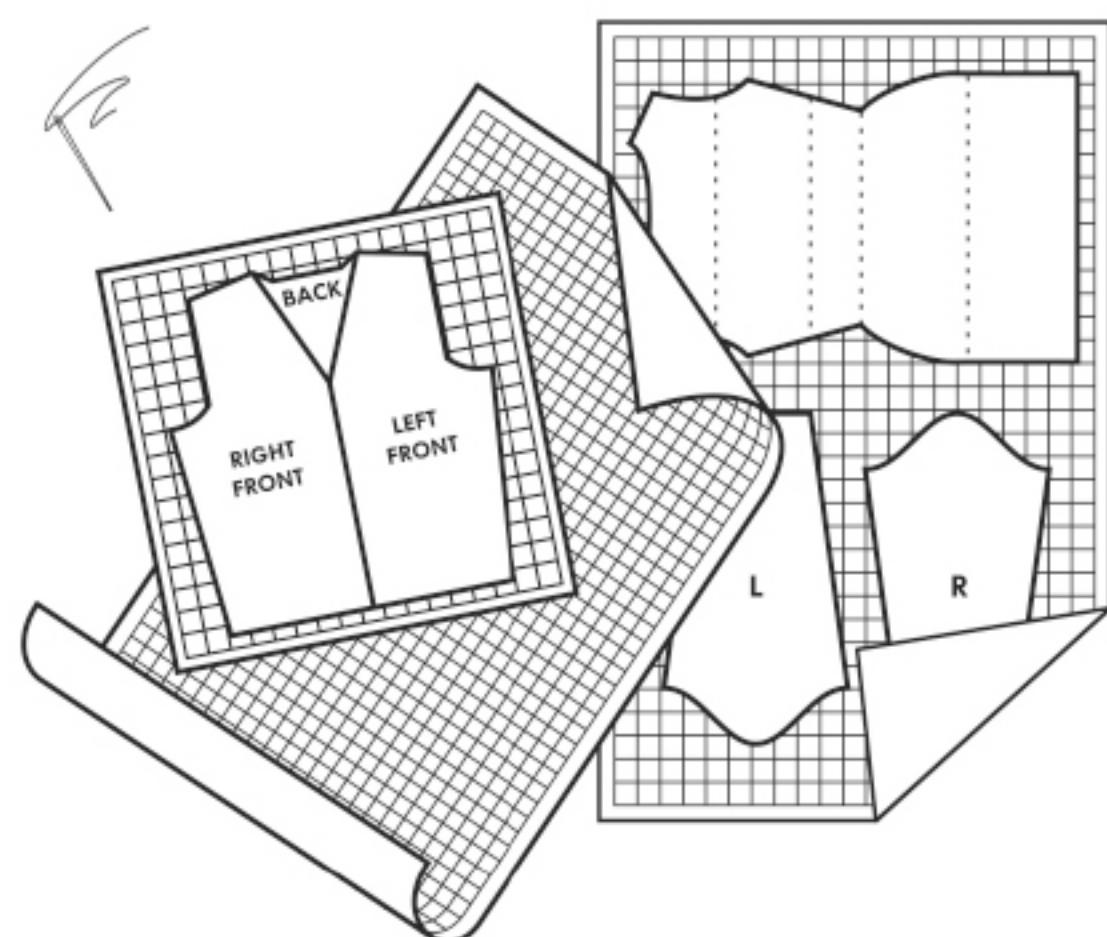
自分だけのオリジナルの服を作つて見ませんか!

どうしても自分の手で作りたい! そんなあなたを全面サポート。

スカート、ブラウス、ドレス、スーツ、コート、
子供服など基本から詳しくわかりやすく教えます。

>出張個人指導ご相談にのります。日曜洋裁教室開講中!

● 詳しいことはこちらへお気軽にご相談ください!



アトリエ澄子創作工房

〒306-0034

東京都東久留米市弥生1-2-37

TEL&FAX 0424(68)8004

祝 第1回わかし公演

琉球箏曲保存会

師範 神谷 ケイ子

住所: 東京都足立区青井1-18-3

電話: 03-3840-8578 携帯: 090-8102-9402

祝 第1回わかし公演

琉球箏曲保存会

師範 川崎 育恵

住所: 東京都杉並区井草1-14-6-206

電話: 03-5932-6312

祝 第1回わかし公演
琉球古典音楽野村流保存会 関東支部
仲宗根栄研究所

住所:〒121-0064 東京都足立区保木間2-20-6
TEL/FAX:03-3883-5596 携帯:090-3227-9548

祝 第1回わかし公演
琉球古典音楽野村流保存会 関東支部
教師 上里 民智徳

〒261-0011 千葉市美浜区真砂4-3-3-406

祝 琉球古典音楽野村流保存会関東支部
第1回 わかし公演



会会評評評評評評評評事副副支相相
計計議議議議議議議務支支部談談
監補佐長員員員員員員員長長長役役

衣石多中宮比中立島上飯和宮岩山島大
笠原川尾内城屋原尾石袋原田田城城下袋城
美雅芳光根清敬恵鶴仁直吉勝盛清
穂猛紀子子子子子わ一子子吉崇己晃成博堅孝

〒653-0032 兵庫県神戸市長田区苅藻4-5-10
支部長 岩城吉成 電話 090-5096-1802

◎琉球古典音楽野村流保存会

竹絃会(安富祖竹久門下会)

相談役:喜瀬 慎仁・金城 タケ子・仲宗根 善久・勝連 繁雄・比嘉 康春
会長:桃原 廣政
副会長:金城 清一・仲村 一史
書記:松田 幸弘 会計:玉城 悟

師範・教師会

師範

金城タケ子	喜瀬 慎仁	仲宗根善久	比嘉 康春	桃原 廣政	勝連 繁雄
渡久山英男	城間 盛久	金城 清一	友利 安徳	糸数 正男	目取真永一
知花 朝貞	玉城 光子	田里 正夫	東江 トミ	渡久山春憲	外間 静子
佐久川政要	新垣 浩	島袋栄一郎	照屋 寛吉	池原 朝雄	仲村 一史
比嘉 洋子	宮城 秀樹	新里 忠	神谷 乗成	神谷美枝子	松田 幸弘
大城 貞吉	仲田 仙八	照屋美代子	山城 良隆	島袋 守成	宮城 葉子
新里 春子	仲村 春栄	福嶺 勝公	島田 忠彦	照屋 守基	當眞 正人
仲井間民子	屋比久和子	泉川 寛	島袋 薫	砂川 幸喜	仲宗根玄雅
砂川 幸吉	大城 聖	玉城 悟	野村 香司	平安名常春	町田 宗孝
瑞慶覧 浩	宮城 光子	池原三致子	宮城 信光	吳屋 勝正	仲間 初子
与儀美津枝	比嘉 勝正	長濱 森夫	大山 初枝	池原千代子	日高 桃子
仲村 逸夫	森田 夏子	小西 瞳子	座間味好子	前田 光子	岸本 恵利
比嘉いづみ	名護みのり				

教師

仲宗根惇博	赤嶺 光則	伊覇 和男	比嘉 和雄	伝道 正典	照屋 喜永
国吉 恭助	村山 久雄	運天 毅	當銘 勇勝	比嘉 政晴	蔵園 有生
仲程 恵信	下里久美子	親川 佐盛	知念 恒雄	兼本 康輝	屋良 朝信
中石 求	岡崎 里栄	島袋 源清	親盛 隆司	宮城 裕六	稻野辺良一
玉城智恵美	高江洲節子	比嘉 一也	下地 新子	伊波 清	又吉 悅子
喜屋武末子	伊佐 務	大湾 政吉	石原みゆき	西筋 清治	吳屋由佳梨
和宇慶幸子	与那覇美乃	比屋根真義	津嘉山稔子	大城 盛雄	高良 良雄
知念 靖治	室井恒滋郎	仲宗根良之	仲栄真政作	石原 茜	島 武夫
伊良部あゆ	親泊 優子	中矢 紗織	上里民智徳	富名腰 梓	松田美奈子
中尾 敬一	宮平 春香	町田 瑞佳	大城 咲子	松堂 哲夫	比嘉 弘子
秋山 清子	上原 幸子	屋富祖康男	前田 玉江	小谷 良輝	上江洲園子
玉城 敦子	渡慶次全一	富濱 宗慶	中尾 雅子	大屋 春江	徳比嘉永真
池原 ユキ	當銘 由茂	仲松 佳恋	石川 清勝	長岡 藍	久場加代子
与那嶺 蘭	新里ミエ子	仲宗根 栄	長濱美智子	安次嶺友紀	高江洲義英
前田 博美	尾沼 南	宇保 隆	仲村 和子	比嘉 芳子	山川美祐季
潮平 清美	大嶺 順吉				

祝 第1回わかし公演



琉球古典音楽野村流保存会

九州支部

支 部 長 一瀬 悅朗

副支部長 下田 美輪子

〒814-0171 福岡市早良区野芥6-58-14

TEL 090-8836-9969



琉球古典音楽野村流保存会

九州支部

一瀬悦朗研究所

師範 一瀬 悅朗

〒814-0171 福岡市早良区野芥6-58-14 TEL 090-8836-9969



琉球古典音楽野村流保存会

九州支部

下田美輪子研究所

教師 下田 美輪子

〒869-2307 熊本県阿蘇市小里104 TEL 090-2580-3986

祝 第1回わかし公演

琉球古典音楽野村流保存会 八重山支部

顧問	玉那覇有和	幹事長	大瀬孫啓	評議員	東大浜賢二
々	新城清	副幹事長	垣迫憲介	々	辻野信行
相談役	知念清吉	会計	真志喜浩三	々	崎枝孫宏
々	具志堅興栄	監査	高那真清	々	南風野喜吉
々	新井勝己	々	宮城克弘	々	豊平隆公
支部長	鳩間昇	評議員	大嵩勝勇	々	亀谷善一
副支部長	高嶺方祐	々	田幸正興	々	川平京子(箏曲)
々	西表健	々	仲里栄芳	々	松島かず代(箏曲)
		々	仲程信次	々	神谷悦子(太鼓)

他、会員一同

連絡先:〒907-0003 沖縄県石垣市平得282 Tel:0980-88-8041(鳩間支部長宅)

琉球古典音楽野村流保存会八重山支部 創立55周年記念公演

日時:平成28年4月23日(土曜)
場所:石垣市民会館大ホール 開場:18:00／開演18:30

祝

関東支部
第1回わかし公演

おめでとうございます

琉球古典音楽野村流保存会 師範 (玉城政文門下会)
八重山古典安室流協和会 師範

鳩間 昇研究所

師範 高嶺 方祐
城土井 進(新人賞)
武岡 寿和(新人賞)

池野 信子 (新人賞)
城土井 力 (高校3年。今年優秀賞)
会員一同

琉球箏曲保存会 師範
八重山箏曲弾の会 師範

鳩間 美智子研究所

〒907-0003 沖縄県石垣市平得282 (電)0980-88-8041

祝 第1回わかれ公演

光史流太鼓保存会東京練場



島袋本流 紫珠の会 会主
光史流太鼓保存会 師範

具志なおみ

〒901-0153 沖縄県那覇市宇栄原2-17-10-2
電話・FAX (098)857-8011

東京稽古場 墨田区京島1-53-4(中村宅)
連絡先:090-7009-8722(中村文子)



琉球古典音楽野村流保存会 関東支部
師範 上原宏子三線教室 那覇支部
沖縄県那覇市牧志2-19-1 TEL090-9580-7231

祝
第1回
わかれ公演

上原宏子関東三線教室
関東教室代表者連絡先 TEL080-5410-4080 (古河)
古河和美 教師免許最高賞受賞
関東在住会員・曲武司 玉城麻理
県外在住会員・阿部由美子 池福芳美



琉球古典音楽野村流保存会
八重山古典音楽安室流協和会

高那真清研究所

師範 高那真清

〒907-0023 沖縄県石垣市字石垣440番地7
TEL 0980-82-8496 携帯 080-1724-5975

玉木流琉装からじ(髪)結い

常任師範 喜瀬初子研究所

沖縄県南風原町 Tel 098-888-0317 携帯 090-1944-1839

所属師範・教師

東京研究所

師範	水町カヨコ	埼玉県川越市	Tel090-8519-8201
師範	松田美津枝	横浜市神奈川区	Tel090-5806-8532
師範	西盛まさえ	神奈川県平塚市	Tel080-6505-8448
師範	久保頼野	東京都立川市	Tel090-2151-8609
師範	田中裕美	東京都東村山市	Tel090-1049-9559
師範	喜屋武清美	神奈川県横浜市	Tel090-9582-5308
師範	平 あき子	神奈川県川崎市	Tel090-3546-7822
教師	知念常子	埼玉県志木市	Tel080-1165-4324
教師	高木和子	東京都葛飾区	Tel03- 5680-5087
教師	與座美和子	東京都品川区	Tel03- 3474-9150

水町研究所

師範	神藤由紀子	神奈川県横浜市	Tel090-7801-8609
教師	宮城タケ	東京都北区	Tel03- 3893-7527
教師	矢澤光子	埼玉県ふじみ野市	Tel049-263- 6781
教師	入澤 紀	埼玉県さいたま市	Tel048-873- 0873
教師	長谷川雅美	埼玉県川越市	Tel070-5086-2812
教師	前川みちこ	東京都杉並区	Tel090-4131-9952
教師	国吉梨枝子	東京都板橋区	Tel080-1044-2931
教師	近田クニ子	埼玉県坂戸市	Tel090-4677-7758

久保研究所

教師	宮城成子	神奈川県相模原市	Tel090-4536-0128
教師	飯田幸子	東京都国分寺市	Tel090-8046-6627
教師	木下慶子	東京都北区	Tel03- 3902-4717



宮城洋子琉球舞踊研究所

主宰 宮城 洋子

稽古日…火曜日・土曜日 PM4時～9時

住所 〒164-0013 東京都中野区弥生町2-52-8
城西本社ビル 円水館内

TEL・FAX 03-5385-0580
ホームページ <http://www.geocities.jp/ryukyubuyo>

祝 第1回 わかし公演



玉城流喜天の会 関りえ子琉球舞踊研究所
会主 関りえ子

稽古場：小田急線喜多見駅徒歩3分 問合せ先：090-3342-8583

祝 第1回 わかし公演

M.A.P.

三線教室

安富祖流古典教室

お楽しみクラス

子供クラス

琉球舞踊研究所

一般 毎週火・木曜

子どもクラス 金曜日

玉城流喜天の会教師宇方路

喜多見と泊江で
小さな沖縄映画祭+α

2016年1/29～2/7(予定)

問合せ先：東京都泊江市岩戸北4-10-7-2F 03-3489-2246 M.A.P.

祝 第1回わかし公演



か ず
真踊流 佳瑞の会



瑞慶山和子琉舞道場

会主 瑞慶山和子

〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘1-53 ヒルサイドテラス3-201
TEL・FAX 042-337-1489

事務局 大和田文子 TEL・FAX 042-371-7660



真踊流佳藤の会

藤原悦子琉舞道場

会主 藤原悦子

稽古日

熊谷道場 火・金・土曜日 13:00~16:00

読亮文化センター川越教室 月曜日 10:30~12:30

〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚1210-9 TEL・FAX 048-524-4969

渡嘉敷流 昌扇会

佐久川 昌子 沖縄舞踊研究所

稽古場 〒210-0806 川崎市川崎区中島2-3-11

稽古日 水曜日 13:00~15:00 日曜日 10:00~12:00

*時間・曜日など相談に応じます。初心者大歓迎！

連絡先 代表 松田 良一

〒221-0862 横浜市神奈川区三枚町563-1 サニーハイツ新横浜305

TEL/FAX 045-381-4190 携帯 090-5806-8532



きら せん かい
玉城流煌扇会
新城久美琉球舞踊道場

師範 新城久美

代稽古 新城美佳 携帯:090-1880-4175

東大島教室(江東区) 金曜日 18:00~21:30

松戸教室(松戸市) 日曜日 18:00~

〒271-0067 千葉県松戸市樋野口551 パークハイツ102
TEL/FAX 047-366-5701

渡嘉敷守良流

東京・沖縄芸能保存会 千葉支部

児玉せつ子沖縄舞踊研究所

師範 児玉せつ子

稽古場:〒262-0032 千葉市花見川区幕張町5-411-1-103

TEL & FAX:043-271-0279

稽古日:月曜日・火曜日 10時~



祝 第1回やかし公演

琉球民謡協会関東支部
花城昇宏琉球民謡研究所

名誉支部長・師範 花城昇宏
教師 花城加津子
教師 仲松 秀市

TEL.03-3933-4334 携帯.090-6171-8877



新宿教室

毎週土曜日
午後1時～4時
新宿区新宿3-8-7
居酒屋 海森2号店

板橋教室

毎週日曜日
午後1時～5時
板橋区中台2-43
中台2丁目集会所



☆初心者大歓迎!!
詳細は花城まで

琉球古典音楽野村流保存会関東支部

祝 第一回 わかし公演

沖縄横笛協会（関東）

前田裕美 沖縄横笛研究所

小平市鈴木町1-371-11 連絡先:090-3530-4997

稽古日：日曜日 13:00～17:00（月2回）他 ご相談下さい

杉田直子 沖縄横笛研究所

さいたま市桜区田島3-25-9-204 連絡先:080-3120-6434

稽古日：金または土曜日・夜中心ですが、ご相談下さい

祝 第1回わかし公演

すみだ琉球舞踊愛好会

会主 中村 文子

〒131-0046 墨田区京島1-50-12

TEL/FAX 03-3612-9493

祝 第1回わかし公演

渡部照子琉球舞踊研究所

〒243-0201 神奈川県厚木市上荻野5634

携帯 090-2447-3825

祝 第1回わかし公演

東京沖縄県人会

会長 仲松健雄

会員募集 年会費 5000円（機関紙 購読料含む）

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-11-2 城辺橋ビル2F
TEL/FAX 03-3281-4320

ホームページ : www.okikenjin.org/

事務局長 島袋 徹 : 090-5310-4959
: ttshima@orion.ocn.ne.jp

祝 第1回わかし公演											
相談役	監査役	〃	〃	〃	〃	〃	幹事会計	事務局次長	副会長	会長	千葉市稲毛区小仲台 5-5-1-402 伊礼方 043-255-0013
神田栄三	本吉国義	仲里朝二	小山田美恵子	宣保政己	大城弘憲	米須裕嘉	上与那原寛喜	佐藤智恵	内田善子	青柳洋子	伊礼明男
								喜屋武貞男	銘苅盛夫	宇良宗英	武田誠



千葉沖縄県人会



江東沖縄県人会

会長 比嘉正英 事務局 手登根薰 石井比呂志
副会長 比嘉ナツ子 会計 富森枝里子
相談役 仲宗根健次 他役員一同

◇連絡先:中央区新富1-11-3(仲宮里) ☎ 03-3552-7733

税理士法人YS 東京中央会計 会長

(株)銀座電子計算センター 代表取締役

東京沖縄県人会 最高顧問

東京琉球舞踊協会 名誉会長

関東伊是名郷友会 会長

那覇商関東同窓会 名誉会長

関東沖縄経営者協会 顧問

藝能学会 監事

T.K.C東京中央会 相談役

仲田会計事務所

所長税理士 仲田 清祐

連絡先

〒154-0024

東京都世田谷区三軒茶屋 1-39-7-1002

TEL & FAX 03-3418-4877

祝 第1回わかし公演

黒潮総合法律事務所

弁護士 日高 章 民事・相続全般

〒101-0046 千代田区神田多町2-7-3-6F

TEL:03-3251-7090 FAX:03-3251-7094

Email:akirahidaka@mbd.nifty.com

ホームページ:www.kuroshiolaw.jp

洲鎌合同司法書士事務所

代表司法書士 洲鎌一彦

登記全般

〒101-0048 東京都神田司町2-7 鈴木ビル5階

TEL:03-3293-2290 FAX:03-3293-2291

MIYOSHI



無添加せっけんと暮らす安心生活

石けんは 5500 年前に誕生した天然原料生まれの洗浄成分です。

人と環境にやさしい石けんは、人の生活に寄り添い

暮らしにキレイと安心を提供し続けてきました。

ミヨシ石鹼ではそんな、石けんの特長を活かして洗顔から

お洗たくまで暮らしにトータルで安心と安全をお届けします。

洗うのに必要な成分だけ。それがミヨシの無添加シリーズの特長です。



ミヨシ石鹼株式会社 〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12

TEL.03-3634-1341(代) www.miyothisoap.com

祝 第1回わかし公演

貸しフリースペース（稽古場・その他）

比嘉 芳子

〒166-0001 杉並区阿佐谷北1-28-9 真南風ビル 2F
ケータイ 080-1110-7512 FAX 03-3339-2726

ビデオ撮影・編集・ビデオコントロールシステム開発

テトラ 商会
西仲野 栄藏

〒168-0063 杉並区和泉1-9-10 TEL(03)3325-8761(代)
携帯電話 090-3812-0321 FAX(03)6762-8764



きらせんかい
玉城流煌扇会

宮里しげみ琉球舞踊道場

教師 宮里しげみ

江戸川区教室(江戸川区)
土曜日 14:00~

〒133-0065
東京都江戸川区南篠崎3-29-12
クリスタルハイム瑞江402
TEL/FAX 03-3677-2513

祝 第1回わかし公演

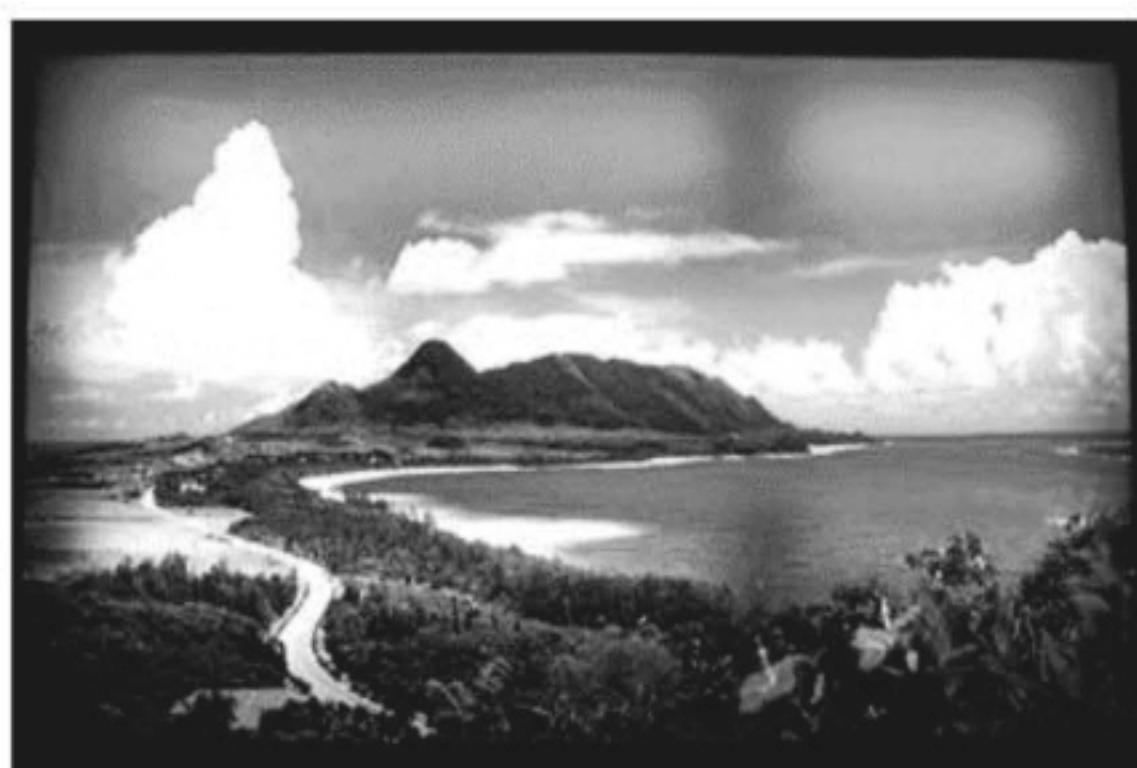
沖縄音楽三線教室 主宰

伊良崎高吉

〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町1番地 プルミエKIビル7F・(神田教室)
TEL・FAX (03)3252-8544 MOBILE 090-1510-5808
<http://okion34kyousitsu.grupo.jp/>

なんた浜

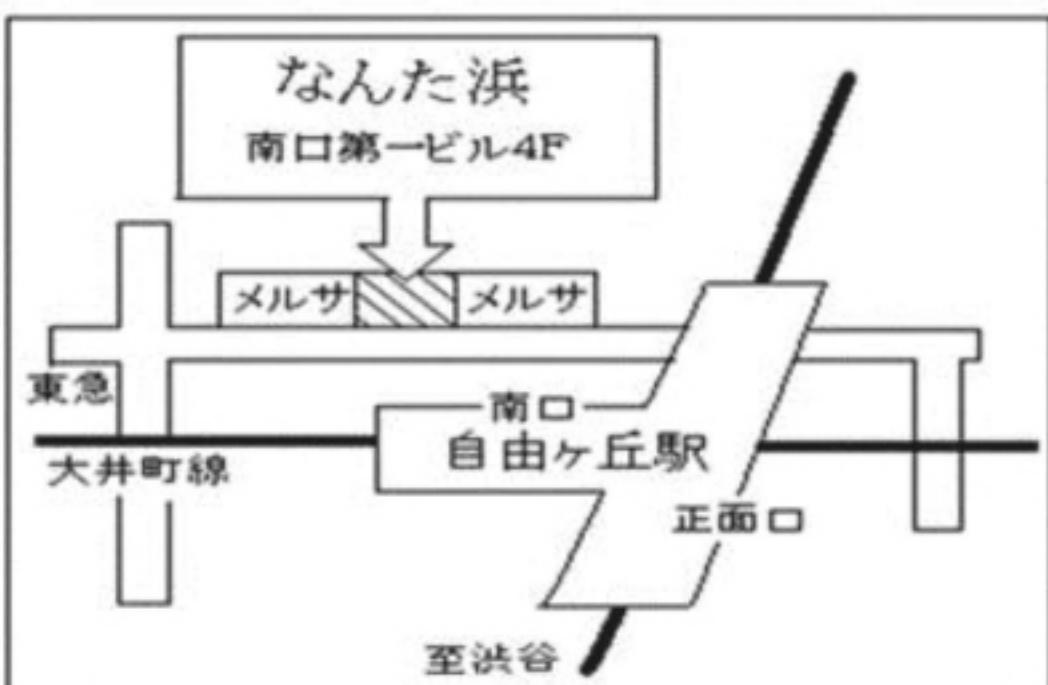
沖縄の珍味と酒処
すっぽん料理



「第1回わかし公演」
おめでとうございます。

なんた浜、皆様のおかげで45年目
となりました。オリオンビール、泡盛
呑んで歌って踊って楽しく
お待ちしています。

〒152-0035
東京都目黒区自由が丘1-8-20
自由が丘第一ビル 4階
TEL : 03-3723-2933
定休日：月曜日
営業時間：17時～23時30分
LO : 10:30



祝 第1回わかし公演

沖縄料理 城

住所 東京都新宿区新宿3-8-5中川ビル2F
電話 03-5269-2269

桃園川緑道沿いに立つ昭和23年築の二軒長屋
自家製スパイシーカレーとおいしい珈琲、時々イベント有り

カフェ モモガルテン

☎03-5386-6838 住所／中野区中央2-57-7
営業時間／11時～18時(金曜は22時までバータイム)
定休日／月・火・水曜(祝日の場合は営業し、木曜代休)
交 通／中野・東中野・中野坂上駅、どこからも徒歩13～16分。

本場沖縄料理

かりゆし

ランチ 火～土 11:30～14:30

夜営業 火～日 17:00～24:00

(本格的沖縄民謡ライブ開催中)

月曜定休

東京都新宿区新宿3-10-10-B1F Tel:03-3341-3179

*沖縄民謡三線教室 生徒募集！ 毎週日曜13:00～15:00
琉球民謡協会教師 山城 留美子



本場古酒泡盛

東京・新富町
沖縄料理

仲宮里

Naka miya zato

中央区新富1-11-3 ☎ 03-3552-7733

営業時間：(月)～(土)日祝休 ランチタイム 11:30～14:00
居酒屋タイム 17:30～23:30 (LO22:30)

新規店
OPEN!

香んでカラメス
純 JUN

中央区新富1-9-9
TEL:03-3553-1909

仲宮里より歩いて2分

名嘉地そば

店長 大城 隆一郎

名嘉地交差点
すぐそば

営業時間 AM11:00～PM10:00 ラストオーダー PM9:00
〒901-0235 豊見城市字名嘉地215-3 TEL (098) 856-7555

MADE IN OKINAWA

FOR YOUR HAPPY TIME

Orion



ORION DRAFT BEER



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。

妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

オリオンビール株式会社



私たちちは「観光」と「交流」で地域社会に貢献します。



沖縄観光 年間45万人の誘客実績

- 観光は一相互理解による平和に貢献します。
- 観光は一地域の自然や伝統文化を大切にします。
- 観光は一地域経済発展に貢献します。(沖縄県観光学習教材より)

地域に根ざし 世界にはばたく

ワントゥースマイル OTS 沖縄リスト

本社:那覇市松尾1-2-3 ☎(098)862-1111
•旅行部 •レンタカーカー部

東京支店 ☎(03)5408-5201

横浜支店 ☎(045)680-5861

<http://www.otsinfo.co.jp>

東京那覇会新規会員募集

東京那覇会は、昭和22年4月東京在住のナーファンチュ百余名が、平和を迎えた喜びとお互いの息災を祝って、目黒雅叙園で開催され、来年は、80回記念を迎えます。

那覇市が、首里・真和志・小禄地区を吸収合併したため、その出身者も参画し、登録会員は千余名に達しましたが、会員の高齢化が進み、組織の活性化が大きな課題となっています。

毎年、総会、懇談会を開催し、沖縄に関する学術的な講演会を中心とした文化活動や敬老金・奨学金の支給と会員相互の親睦もはかっております。

なお会は、一口千円以上の年会費と有志の寄付金で運営されております。

ただいま、80回を記念して新規会員の募集を行っており、故郷の歴史と文化研究、交友関係のひろがりが期待できますので、新規会員として応募されますようご案内いたします。

参加を希望される方は下記にご一報願います。

事務局 **03-3469-0022**

会長 山路 安清

副会長兼事務局長 庄司 マサエ

副会長 安次嶺 晓



東京支社が移転しました！

今後とも宜しくお願ひ致します

〒104-0061 中央区銀座8-18-1 銀座木挽町ビル6階

電話：03-6264-7878 FAX：03-6226-1200

 沖縄タイムス社 東京支社長 具志堅 翼

祝 第1回わかし公演

琉球古典音楽野村流保存会関東支部

小西睦子古典音楽研究所「わかし」一同

川野 和好

川野 香織

川瀬 美和子

越 恵吾

中山 晴香

上原 次郎

新倉 末子

安里 嗣則

上原 瞬

加地 芳恵

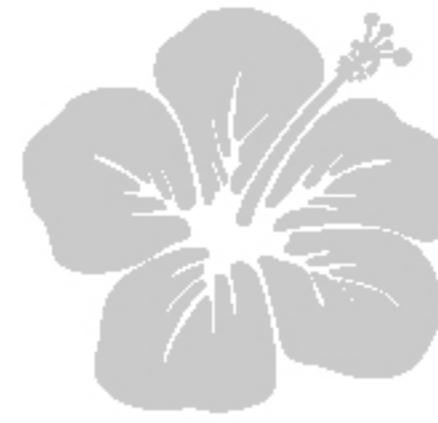
天藤 博之

鴻上 牧希

金城 聰

川瀬 啓之

川瀬 結心





ふるさと伝統料理

泡盛 オリオン 本格沖縄料理

新宿東口徒歩1分！

渋谷ハチ公口徒歩3分！

営業時間11時～24時

LO23:30

本格沖縄料理をリーズナブルでご提供！

やんばる全店お昼から飲み大歓迎！お昼はお得な
ランチもございます！

ふるさと伝統料理 やんばる
沖縄食堂



新宿2号店

泡盛各種！昼から飲めます！



貸切最大40名様位OK!

テーブルチャージは頂きません



本店 03-5269-3015

2号店 03-3353-2028

渋谷店 03-3476-2225

渋谷ハチ公口徒歩3分！

あとがき

第一回わかし公演実行委員長

仲間 功

本日はご多忙のなか、琉球古典音楽野村流保存会関東支部主催の第一回わかし公演にご来場いただきまして誠にありがとうございました。実行委員長として本公演までを振り返り、私たちの思いをお伝えします。

わかし公演は、会の将来を背負っていく若手の活躍の場が必要であるということから、この企画がでてまいりました。ここでいう若手とは、古典音楽の師匠になる手前までの人たちを指しています。単に年齢のことと言っているわけではありません。成長途上の「わかし」の面々は、関東支部の師匠たちの思いを受け止め、一層稽古に励む事はもとより本日の裏方に至るまで公演に関わる全ての仕事を、責任感を持って担当してまいりました。この経験は、必ずや関東に於ける琉球古典芸能の今後の発展に役立つこと信じています。

ご来場の皆さまをはじめ、本公演の主旨をご理解いただき、ご協力して下さいました琉球舞踊の先生方、プログラムに広告を掲載することを通じて、公演の実施運営を支えていただいた方々、また、ご後援をいただいた企業・団体の皆さんに、改めて厚く御礼を申し上げます。

第一回わかし公演実行委員

仲間功

濱田武志

谷川昇

安里嗣則

藤高めぐみ

日高桃子

仲宗根栄

中村文子

司会

笠原梢

舞台監督
比嘉義勝[沖縄本部]

プログラム企画
小西睦子 安里嗣則

プログラム制作
柄本企画



主 催

琉球古典音楽野村流保存会 関東支部

第1回わかし公演実行委員会 事務局

住所：〒343-0841 埼玉県越谷市蒲生東町 19-40

小西睦子研究所内

TEL : 090-4139-3434(小西)

Mail : info@nomuraryu-hozon-kanto.com

URL : http://www.nomuraryu-hozon-kanto.com

野村流関東支部

検索



後 援

琉球古典音楽野村流保存会

琉 球 箏 曲 保 存 会

東 京 琉 球 舞 踊 協 会

東 京 沖 縄 県 人 会

沖 縄 タ イ ム ス ソ

沖 縄 ツ ー リ ス ト